

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 736 号	氏名	松永 淳子
学位審査委員	主 査	村田 比呂司	
	副 査	梅田 正博	
	副 査	筑波 隆幸	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、矯正治療におけるチタン合金矯正用ワイヤーの接合について、これまで検討されていなかった金ロウを使用した電氣的溶接法とレーザー溶接法の引張り強度を調べたものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 4種類の矯正用ワイヤーを同種溶接、異種溶接を行い、接合部の肉眼的観察と引張り試験にて破断時の最大荷重と伸びの測定を行っている。さらに種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、チタン系合金ワイヤーと異種のワイヤーを接合する場合には、金ロウを使用した電氣的溶接法が有効で引張り強度も十分であった。今後の矯正治療への臨床応用が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は歯科矯正学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			